



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 カシオ計算機株式会社
コード番号 6952 URL <https://casio.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樫尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務統轄部長 (氏名) 高野 晋

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	66,078	1.1	7,532	13.9	7,034	15.0	4,903	1.9
2019年3月期第1四半期	66,815	4.3	6,611	0.7	6,115	5.1	4,813	15.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,623百万円 (70.2%) 2019年3月期第1四半期 5,449百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.97	19.57
2019年3月期第1四半期	19.54	19.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	341,601	203,787	59.7
2019年3月期	357,530	211,594	59.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 203,787百万円 2019年3月期 211,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		25.00	45.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	150,000	3.4	15,000	1.5	14,800	2.9	11,000	1.0	45.03
通期	315,000	5.6	31,500	4.1	31,000	3.7	22,500	1.6	92.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.7「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	259,020,914 株	2019年3月期	259,020,914 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	15,684,407 株	2019年3月期	12,699,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	245,574,629 株	2019年3月期1Q	246,324,419 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における内外経済は、国内の雇用環境は引き続き底堅く推移している一方、米中貿易摩擦の長期化や、英国のEU離脱問題の影響等により世界景気の減速懸念が高まり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、為替円高影響もあり、前年同期比1.1%減の660億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが580億円、システムが66億円、その他が13億円となりました。

時計は「G-SHOCK」の初号機5000シリーズ初のフルメタル仕様モデル『GMW-B5000』を中心にグローバルで「G-SHOCK」のメタルが好調に推移しました。また、新製品のOCEANUS超薄型モデル『OCW-S5000』の販売好調により、一般のメタルアナログウォッチが回復基調となりました。楽器は新製品のSlim&Smartモデルが好調に推移しました。システムは電子レジスターのフランスでの法令レジスター特需先送りの影響などにより減収となりました。

損益につきましては、営業利益は、コンシューマが101億円、システムが△8億円、その他が0.4億円、調整額が△17億円で前年同期比13.9%増の75億円となりました。

時計は収益性の高い「G-SHOCK」が好調、Gメタル比率の拡大により、収益性が大幅に向上しました。楽器は高収益性のSlim&Smartモデルの拡大により収益体質が大幅に改善されました。

また、経常利益は70億円（対前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億円（対前年同期比1.9%増）、1株当たり四半期純利益（EPS）は19円97銭と改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末比159億円減少の3,416億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比78億円減少の2,037億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比0.5ポイント増の59.7%に改善されました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（2019年5月14日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見直しについて

①為替水準は1US\$=112円、1ユーロ=120円を想定しております。

②業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,714	65,339
受取手形及び売掛金	44,141	35,131
有価証券	50,000	40,000
製品	39,061	42,894
仕掛品	5,836	5,523
原材料及び貯蔵品	9,377	8,748
その他	17,043	24,480
貸倒引当金	△556	△479
流動資産合計	238,616	221,636
固定資産		
有形固定資産		
土地	33,564	33,552
その他(純額)	23,241	26,766
有形固定資産合計	56,805	60,318
無形固定資産		
無形固定資産	8,978	9,010
投資その他の資産		
投資有価証券	30,630	27,533
退職給付に係る資産	11,414	11,612
その他	11,153	11,558
貸倒引当金	△66	△66
投資その他の資産合計	53,131	50,637
固定資産合計	118,914	119,965
資産合計	357,530	341,601

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,522	22,220
短期借入金	232	172
1年内償還予定の新株予約権付社債	10,003	10,001
未払法人税等	3,584	2,001
製品保証引当金	781	777
事業構造改善引当金	212	212
その他	39,429	36,719
流動負債合計	82,763	72,102
固定負債		
長期借入金	58,988	58,930
事業構造改善引当金	1,020	1,020
退職給付に係る負債	578	571
その他	2,587	5,191
固定負債合計	63,173	65,712
負債合計	145,936	137,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,058
利益剰余金	111,757	111,120
自己株式	△19,956	△23,846
株主資本合計	205,451	200,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,246	6,611
為替換算調整勘定	△4,178	△5,680
退職給付に係る調整累計額	2,075	1,932
その他の包括利益累計額合計	6,143	2,863
純資産合計	211,594	203,787
負債純資産合計	357,530	341,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	66,815	66,078
売上原価	36,224	36,722
売上総利益	30,591	29,356
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	8,263	8,108
その他	15,717	13,716
販売費及び一般管理費合計	23,980	21,824
営業利益	6,611	7,532
営業外収益		
受取利息	113	194
その他	94	53
営業外収益合計	207	247
営業外費用		
為替差損	553	553
その他	150	192
営業外費用合計	703	745
経常利益	6,115	7,034
特別利益		
固定資産売却益	2	8
投資有価証券売却益	—	486
特別利益合計	2	494
特別損失		
固定資産除却損	8	10
競争法関連損失	—	505
役員特別功労金	—	200
特別損失合計	8	715
税金等調整前四半期純利益	6,109	6,813
法人税等	1,296	1,910
四半期純利益	4,813	4,903
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,813	4,903

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,813	4,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	939	△1,635
為替換算調整勘定	△371	△1,502
退職給付に係る調整額	68	△143
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	636	△3,280
四半期包括利益	5,449	1,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,449	1,623
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が4,082百万円増加し、流動負債の「その他」が1,468百万円及び固定負債の「その他」が2,699百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	57,117	8,056	1,642	66,815	—	66,815
(2) セグメント間の内部 売上高	3	5	1,533	1,541	△1,541	—
計	57,120	8,061	3,175	68,356	△1,541	66,815
セグメント利益 又は損失(△)	8,954	△425	46	8,575	△1,964	6,611

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,964百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,964百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	58,066	6,654	1,358	66,078	—	66,078
(2) セグメント間の内部 売上高	—	5	1,867	1,872	△1,872	—
計	58,066	6,659	3,225	67,950	△1,872	66,078
セグメント利益 又は損失(△)	10,129	△875	49	9,303	△1,771	7,532

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,771百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,771百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。